

外国語試験の免除について

法学研究科

本学法学研究科博士課程前期課程を 2023 年 3 月に修了した者または 2024 年 3 月に修了見込みの者には外国語試験の免除制度があります。

一般入学試験:専攻予定科目が国際法の場合、審査により、外国語 1 科目を免除します。

外国人入学試験:国内在住者は審査により、外国語を免除します。

免除希望者は、下記の要領で手続きを行ってください。

1 免除申請者の資格

本学法学研究科博士課程前期課程を 2023 年 3 月に修了した者または 2024 年 3 月に修了見込みの者で、本学法学研究科博士課程後期課程への進学を強く希望し、入学後の研究計画が明確な者。

2 免除申請手続き

(1) 申請書類

① 外国語試験免除申請書

- ・ 本案内に添付の用紙に必要事項を記入し、博士課程前期課程における指導教員に所見を記入してもらってください。
- ・ 所見の記入は正の指導教員に依頼してください。ただし、研究休暇等で不在の場合は副の指導教員に依頼してください。正・副とも不在の場合は教務部学部事務2課 法学研究科担当に問い合わせてください。

② 研究計画書

- ・ 下記に従って研究計画書(本文)を作成し、入試要項 Web サイトよりダウンロードした用紙を表紙にして上部2か所をホッチキスで留めてください。
- ・ 研究計画書(本文)は、A4判、横書き、ワープロを使用して 800 字程度で作成するものとし、現在の問題関心、入学後の研究計画・内容・方法、および、それらと将来の進路希望との関係等について、具体的かつ詳細に記述してください。

③ 返信用封筒

- ・ 市販の長形3号の定形封筒に住所・氏名を明記してください。切手は不要です。

(2) 申請期間

2023 年 11 月 14 日(火)~11 月 16 日(木)

- ・ 日本国内から送付申請する場合は、締切日の郵便局消印有効
- ・ 日本国外から送付申請する場合は、締切日必着

(3) 申請方法

市販の封筒を用い、簡易書留・速達で上記(1)の申請書類を下記宛に郵送してください。

〒171-8501 東京都豊島区西池袋 3-34-1 立教大学教務部学部事務2課 法学研究科担当

(4) 免除の可否

2023 年 11 月 29 日(水)に上記③の返信用封筒により結果を発送します。

3 入学試験への出願手続き

- (1) 免除を認められた者は、入試要項に従い、所定の期間内に出願手続きを行ってください。
- (2) 出願書類のうち、「研究計画書」は免除申請の際に提出されたもので代替するため、改めて提出する必要はありません。
- (3) 免除を認められた者は、志願票の選択受験科目欄に記入する必要はありません(専攻が国際法の場合は外国語 1 科目のみ記入してください)。
- (4) 免除を認められなかった場合でも、免除制度によらずに出願することは可能です。

【問い合わせ先:教務部学部事務2課 法学研究科担当 E-mail:hou-jimu@rikkyo.ac.jp】

2024 年度 立教大学大学院法学研究科 後期課程入学試験

(2024 年春季施行分)

外国語試験免除申請書

2023 年 11 月 日

私は、立教大学大学院法学研究科博士課程後期課程への進学を強く希望しますので、2024 年度法学研究科博士課程後期課程入学試験(2024 年春季施行分)において外国語試験を免除していただきたく、研究計画書を添えて申請します。

所属 (該当に○)	立教大学法学研究科博士課程前期課程 法学政治学専攻 2024 年 3 月修了見込み	
	立教大学法学研究科博士課程前期課程 法学政治学専攻 2023 年 3 月修了	
学生番号	(修了者は在籍時の学生番号を記入してください)	
フリガナ 氏 名		
連絡先	住所	〒 _____
	電話	_____ (自宅 ・ 携帯)
	アドレス	電子メールアドレス _____
入試区分 (該当に○)	一般入学試験 ⇒国際法を選択科目とする者で、1か国語免除の場合の 選択受験外国語(_____)	
	外国人入学試験	
専攻予定 科 目		
博士課程前期課程における指導教員所見(該当するものの番号を○で囲んでください) 1 博士課程後期課程での研究内容から判断して、免除される外国語を必要としない。 2 博士課程前期課程での指導で、外国語の能力を改めて確認しなくても、後期課程での研究に支障がない。 3 その他(具体的内容を記入してください) 教員署名 _____ 印		

<個人情報の取扱いについて> 本申請書に記入の個人情報は、法学研究科入学試験に関する業務にのみ使用します。